

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和5年度 第3回越前市行財政構造改革推進委員会
(2) 開催日時	令和5年11月2日(木) 午後3時から午後4時30分まで
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稲継裕昭委員長、竹内直人委員、谷口真紀子委員、中田竜仁委員、井筒智子委員 高崎昭彦委員、前田聡一郎委員、山崎侑委員
(5) 欠席委員氏名	なし
(5) 出席所管課職員 職氏名	越前市長 山田賢一、総合政策部長 奥山茂夫、総務部長 蒲久美子 総合政策部理事 横川裕康、デジタル政策課長 神門弘明 人事・法制課長 西野健一、総合政策部政策推進幹 三井貫人 総務部政策推進幹 辻川千智、人事・法制課副課長 師田健一郎 人事・法制課副課長 松井成晃、人事・法制課主幹 清水健太 人事・法制課主幹 佐々木崇
(6) 会議議題	行財政システム改革プラン(素案)について
(7) 傍聴者の数	2人
(8) 会議資料の名称	越前市行財政システム改革プラン(素案)について・・・資料1
(9) 会議の内容の 要旨	<p>資料に基づき事務局から提案を行い、委員から質問・意見・提言を頂いた。主な意見は、次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市役所変えよっさ推進員」の正式名称である「行政改革・デジタル化推進員」は、冷たいイメージがあるため、呼称を工夫してほしい。 ・プランの取組方法であるAPDCサイクルについては、A(Assessment/課題把握)とD(Do/実施)に重点を置いて進めていくべき。 ・若手職員が積極的にチャレンジをしたり、意見を言えたりするよう、チェック項目や評価指標、裁量範囲を明確にするなどの取組みをしてほしい。 ・市民がチャレンジをしやすくなるよう、市民と職員が状況を共有し、コミュニケーションを図れるような窓口や機能が市役所にあるとよい。 ・若手職員や女性職員を登用するにあたり、ご褒美として、若手職員だけで構成する部署を新設するなどの仕組みがあってもよい。 ・既存の業務を見える化し、どれだけ減らせるかが大切。業務を削減するときには、発言力のある人が反対するケースがあるが、サイレントマジョリティーの声を拾うことも大切である。 ・「市にクレームが入ったから、昨年度までの事業を廃止した」という市民の声に接したが、事業の良し悪しを議論し、市民目線に立って次につなげるとよい。 ・事業のスクラップを行うにあたっては、止める/止めないという二元論ではなく、一部BPO、委託など、多様な選択肢から検討するとよい。 ・職員の意識改革やモチベーションには限界がある。組織を変えるには、仕組みを

	<p>変える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・組織を変えるために、同期採用、同期昇進という従来の人事慣行を変えることも考えてほしい。・チャレンジ精神や成長意欲の高い若手職員を登用するための人事の仕組みを作ってほしい。・上司の人事評価の在り方を変え、上司自身にチャレンジ精神があるか、部下の意見をくみ取っているかという点に評価のウェイトを置いてほしい。
--	--